

心臓血管外科

1. 診療科としての特色

- 心臓血管外科、特に心臓胸部大血管外科疾患を取り扱っており、心拍動下冠動脈バイパス術、弁膜症に対する弁形成術、重症心不全症例に対する補助人工心臓治療、胸部大動脈瘤に対する手術（open surgery, ステントグラフト内挿術、およびステントグラフト併用 hybrid 手術）、およびこれらの手術の複合同時手術、先天性心疾患に対する手術、新しい外科手術法の開発など、行っており、活発な学会発表活動を行っております。心臓手術の低侵襲化も進めており、すでに左小開胸冠動脈バイパス術を行っており、右小開胸弁形成術も開始し、ロボット支援下心臓手術の導入を見据えて現在準備を進めております。また、4年後の機能強化棟、新手術室開設に伴い、少し出遅れている低侵襲弁置換術も開始予定としております。このなかで偏りのない総合的な循環器疾患に対する治療に対する理解を深め、集中治療技術を学び、心臓血管外科領域の知識、技能を習得してもらうことを目標としております。
- 心臓血管外科専門医を早期に取得するため、大学病院と関連病院が連携した研修体制を組んでおります。
- 希望者には海外留学の機会を提供しております。

2. 研修目標

- 初期研修で当科を選択された場合にその研修期間で学んでもらうことは、外科系診療科としての診察技術、術前準備、病態評価とともに、外科術後経過と外科的基本手技の理解・習得とともに、循環器系診療科として心不全治療、集中治療技術の基礎の習得を目標としています。
具体的初期研修内容：基本的身体診察技能、基本的外科術後管理、心不全管理、基本的外科手技（皮膚縫合、CV カテ挿入）、症例プレゼンテーションなど
- 将来、心臓血管外科医を目指した研修を希望される場合
心臓血管外科専門医は外科専門医取得後の **subspeciality** として位置づけられており、外科専門医を取得後に心臓血管外科専門医を取得することとなりますので、それを踏まえた研修体制を立てております。
①初期研修終了後、当院の外科専門医プログラムに参加していただき、最初の1年（卒後3年目）は外科研修を受け、外科専門医取得のための経験を積んでもらいます。その後、外科専門医取得に必要なポイントを獲得、あるいは獲得の見込みがあると判断された時点で、心臓血管外科としての研修に移行します。
②Subspeciality としての心臓血管外科専門医をできるだけ早く取得するためには、外科専門医を最短で取得する必要があります。外科専門医を最短で取得するためには、卒後3年目にしっかり外科研修を受け外科の基本を学び、卒後4年目に外科専門医の予備試験を受験、合格し、5年目の外科専門医認定試験を受験し合格する必要があります。それと並行して、心臓血管外科の修練医としてトレーニングを積み、外科専門医取得3年後に心臓血管外科専門医試験を受けることが可能となります。つまり、最短で卒後8年となります。当科プログラムでは卒後8年での専門医取得を目指したプログラム構成となっております。
- 心臓血管外科の研修プログラムは、初期の1年を大学で行い、心臓手術後術後管理を学びつつ、冠動脈バイパス術における大伏在静脈採取、開胸・閉胸などの心臓血管外科基本手技を習得してもらいます。その後の関連病院での研修では、末梢血管外科の術者、心臓外科の術者も経験してもらいます。また、病棟管理の中心的役割を果たしてもらい、心臓外科術後管理法を習得してもらいます。心臓血管外科専門医取得条件として、学会発表、論文作成も要求されているため、学会発表、論文作成も積極的に行ってもらいます。

3. 関連施設情報

大学病院

大学病院では、心臓外科（冠動脈外科，弁膜症外科），大動脈外科とともに補助人工心臓を使用した心不全外科を行っております。大学病院らしく，重症度が高く複雑な病態を持つ症例が多く集まってきます。心臓血管外科研修のスタートを大学病院で過ごしてもらうことで，基本的知識を深く理解するとともに，基本的外科技術を習得してもらうことができます。大学病院での心臓血管外科医としての基礎作りがその後の関連施設での研修をより有意義にしてくれます。また，国内外の学会での発表，論文作成の機会も多く，心臓血管外科の学術的基礎を養うことも大学での研修目標となります。

関連施設

当科の関連施設は関東甲信越地域に8施設あり，それぞれの地域の中核病院の心臓血管外科診療を行っております。各施設とも指導資格を持った専門医により指導を受けてもらうことが可能で，若手医師が心臓血管外科専門医を目指して経験を積むことが可能な環境を整えております。関連施設では，心臓外科，大動脈外科とともに血管外科診療も行っており，比較的難度の低い手術も多く，術者としての経験を積むことが可能であります。このような経験を積み重ねていくことで，難度の高い手術に立ち向かうための技術，精神力，そして患者管理能力を身に付けてもらいます。関連施設では施設ごとにそれぞれ特色を持った診療を行っており，専門医を取得するまでに大学病院とこれら関連施設を2～3施設に渡り勤務することで，バランスの取れた心臓血管外科研修を提供しております。

東京都	都立広尾病院	3名（専門医2名）
	武蔵野赤十字病院	3名（専門医2名）
	青梅市立総合病院	3名（専門医2名）
	町田市民病院	2名（専門医1名）
神奈川県	横須賀共済病院	3名（専門医2名）
埼玉県	草加市立病院	3名（専門医2名）
茨城県	土浦協同病院	3名（専門医3名）
長野県	北信総合病院	2名（専門医1名）